

SERIES リベラルアーツ：自由に生きるための知性とは何か？ Session 04  
「その相談、あの本なら、こう言うね。F/哲学の劇場」参考文献一覧

講義で紹介のあった文献をお伝えします。

■立命館大学文学部 瀧本 和成教授

- ☆武者小路実篤著『人生論・愛について』（新潮社、1969年）
- ☆ヴォルテール著、植田祐次訳『カンディード 他五篇』（岩波書店、2005年）
- ☆石川啄木著、桑原武夫訳『啄木・ローマ字日記』（岩波書店、1977年）
- ☆高野悦子著『二十歳の原点』（新潮社、1979年）
- ☆リルケ著、大山定一訳『マルテの手記』（新潮社、1953年）
- ☆有島武郎著『宣言』（岩波書店、1934年）
- ☆デュマ・フィス著、新庄嘉章訳『椿姫』（新潮社、1950年）
- ☆村上春樹著『ノルウェイの森 上下』（講談社、2004年）
- ☆森鷗外著『鷗外近代小説集』（岩波書店、2012年）
- ☆アダム・スミス著『国富論』（岩波書店、2000年）
- ☆カール・マルクス著『資本論』（岩波書店、1969年）
- ☆マックス・ウェーバー著『職業としての学問』（岩波書店、1936年）
- ☆ジャン・ポール・サルトル著『サルトル全集 第12巻 想像力の問題』（人文書院、1983年）
- ☆森鷗外著『青年』（新潮社、1948年）
- ☆上田博、瀧本和成編『明治文芸館IV 20世紀初頭の文学「明星」創刊とその時代』（嵯峨野書院、1999年）

■立命館大学大学院先端総合学術研究科講師、文筆家、ゲーム作家、「哲学の劇場」主宰 山本 貴光先生

- ☆リディア・デイヴィス著、岸本佐知子訳『ほとんど記憶のない女』（白水社、2011年）
- ☆トッド・ローズ著、小坂恵理訳『ハーバードの個性学入門:平均思考は捨てなさい』（早川書房、2019年）
- ☆大前栗生著『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』（河出書房新社、2020年）
- ☆キャロライン・クリアド=ペレス著、神崎朗子訳『存在しない女たち: 男性優位の世界にひそむ見せかけのファクトを暴く』（河出書房新社、2020年）
- ☆夏目漱石著『吾輩は猫である』（新潮社、1961年）
- ☆近藤聡乃著『A子さんの恋人』（KADOKAWA、2018年）
- ☆渡邊淳司著『わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために その思想、実践、技術』（ビー・エヌ・エヌ新社、2020年）
- ☆ホイジンガ著、高橋英夫訳『ホモ・ルーデンス』（中央公論新社、2019年）

■文筆家、編集者、「哲学の劇場」主宰 吉川 浩満氏

- ☆岡野純著『マンガでわかる! 幼稚園児でもできた!! タスク管理超入門』(インプレス、2013年)
- ☆デビッド・アレン著『はじめての GTD ストレスフリーの整理術』(二見書房、2015年)
- ☆上西充子著『呪いの言葉の解きかた』(晶文社、2019年)
- ☆メアリー・ビアード著、宮崎真紀訳『舌を抜かれる女たち』(晶文社、2020年)
- ☆ダイアン・J.グッドマン著、出口真紀子訳他『真のダイバーシティをめざして—特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育』(上智大学出版、2017年)
- ☆清田隆之著『さよなら、俺たち』(スタンド・ブックス、2020年)
- ☆尹雄大著『さよなら、男社会』(亜紀書房、2020年)
- ☆堀越英美著『モヤモヤしている女の子のための読書案内 (14歳の世渡り術)』(河出書房新社、2020年)
- ☆二村ヒトシ著『なぜあなたは「愛してくれない人」を好きになるのか』(イースト・プレス、2014年)
- ☆レイ・オルデンバーグ著、忠平美幸訳『サードプレイス コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」』(みすず書房、2013年)
- ☆ジョセフ・ヒース著、栗原百代訳『啓蒙思想 2.0—政治・経済・生活を正気に戻すために』(NTT出版、2014年)

ほか以上